

平成29年度第12回登別市教育委員会会議録

日 時 平成30年3月22日（木）午後4時30分

場 所 ホテル平安

第12回 教育委員会議事日程

1 日 時 平成30年3月22日(木) 午後4時30分

2 場 所 ホテル平安

3 議 案

報告第12号 市議会定例会追加提出議案に関する意見に係る臨時代理について

報告第13号 平成30年第1回定例会一般質問について

報告第14号 教職員人事の内申に係る臨時代理について

議案第20号 登別市立学校管理規則の一部改正について

議案第21号 登別市学校給食センター庶務規程の一部改正について

4 情報提供

(1) 平成29年度土曜授業事業実績及び平成30年度事業計画について

(2) 平成30年進路状況について

(3) 平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

(4) 平成29年度家族の時間づくりプロジェクト本実施の施設利用状況について

(5) 平成30年度市内小中学校入学式について

(6) 登別市立鷺別小学校多目的ホール及び特別活動室の地域開放について

(7) 「郷土資料館特別展 はじめまして！」について

5 出席者

(教育委員会5名)

教育長	武田 博	委 員	垣内 登紀子
委 員	森口 達	委 員	赤井 秀輝
委 員	堅田 裕		

(事務局9名)

教育部長	佐藤 史彦
教育部参与	野崎 均
教育部次長	橋場 太
総務部グループ建築主幹	出口 利美
学校教育グループ総括主幹	田中 道郎
学校教育グループ学務主幹	小野島 晶
社会教育グループ総括主幹	安部 直也
学校給食センター長	小森 仁
図書館長	綿貫 亨

○**武田教育長** それでは、本日の委員会は5名全員が出席されておりますので、有効に成立していることをご報告します。これより平成29年度第12回教育委員会を開催します。本日の議事は報告3件、議案2件になります。それでは早速議事に入りたいと思います。報告第12号「市議会定例会追加提出議案に関する意見に係る臨時代理について」事務局から説明をお願いします。

○**橋場教育部次長** それでは議案書1ページをお開きください。報告第12号「市議会定例会追加提出議案に関する意見に係る臨時代理の報告」になります。本報告は、平成30年第1回市議会定例会の追加提出議案であります平成29年度一般会計補正予算（第7号）、平成30年度一般会計補正予算（第1号）について、登別市教育委員会教育長に対する事務委任規則第3条の規定に基づき2ページのとおり臨時代理を行いましたので、その内容を報告し承認を求めます。

この補正予算は、別添の資料がありますけども、先月の会議でお知らせしていました、幌別西小学校と富岸小学校の耐震化・改修事業になります。はじめ30年度の当初予算で計上をしておりましたが、29年度の国の補正予算を活用とすることになりましたので、30年度の当初予算を減額し、29年度で追加の補正を行うものです。補正予算を活用することで、起債が約5,600万円多く活用することができるようになりまして、更に交付措置もあるということになります。また、予算確保は29年度になりますが、30年度に繰り越しして工事を行うことになります。以上です。

○**武田教育長** ただ今説明がありました報告第12号について、ご質疑ございませんか。

（「ありません」の声あり）

○**武田教育長** それでは、報告第12号については、承認することとしてよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○**武田教育長** それでは、報告第12号については承認することといたします。次に報告第13号「平成30年第1回登別市議会定例会一般質問について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

○**橋場次長** はい。議案書は3ページになります。第1回定例会は教育関係では天神林議員1人から質問がありました。質問項目は教育行政執行方針ということで、29年度までは「地域とともにある学校づくり」は、学校教育の分野の中に位置付けていましたが、30年度は外出しして、学校教育、社会教育を合わせて取り組むこととしています。具体的な部分としては「地域学校協働活動」を推進するため社会教育法が改正されましたので、地域学校協働本部に移行していくことができるよう体制づくりについて検討していくこととしていることを答えてい

ます。学校教育については6つの項目の質問がありましたが、特徴的なものとして、幼保・小・中連携については、幼保小の教員同士の研修や子ども同士の交流が推進されるよう促していくこと。登別市小中学校英語教育推進プログラムについては、指導のあり方等を見直していくこと。道徳については、評価に関する資料提供等を行っていくこと。いじめについては、市や学校で定めた「いじめ防止基本方針」に基づき早期発見・早期対応に努めていることを答弁しています。また、社会教育は中期計画の進捗状況ということで、重点項目として掲げている「人づくり」「家庭教育」「文化活動」「健康・スポーツ」「学習環境の整備」の各項目を、相互に関連性を持たせながら各団体などと連携して取り組んでいることを答弁しています。以上です。

○**武田教育長** ただ今報告第13号について説明がありました。ご質疑ございませんでしょうか。

(「ありません」の声あり)

○**武田教育長** それでは、報告第13号については終了します。次に報告第14号「教職員人事の内申に係る臨時代理について」事務局から説明をお願いします。

○**田中学校教育グループ総括主幹** 報告第14号は、北海道教育委員会の平成30年4月1日付け学校職員の人事異動の日程に基づき、今年9日に内示を行うに当たって、教育長に対する事務委任規則第3条第1項の規定により、臨時に代理しましたので、同条第2項の規定により報告し承認を求めるものです。資料は7ページと本日配布したものになります。異動の内容でございますが、道教委の内示書のとおりとしておりますので、定数内での期限付き職員の配置も表示しております。まず、転出につきましては、校長が小学校5人、中学校2人で計7人、うち定年退職者が3人となっております。教頭は中学校1人で、この方は校長昇任者となっております。管理職は、校長が13校中半分以上の7校で異動になっておりますので、学校運営に配慮して教頭異動は最小限ということではほぼ留任となっております。一般教諭・事務は、期限付きと再任用を除く実異動としては、小学校が21人、中学校が17人の計38人で、退職が定年5人、勸奨2人、自己都合2人の計9人です。件数としては、実異動が55人で再任用と期限付きを含めた全件では67件となります。

次に転入についてですが、校長が小学校5人、中学校2人の計7人、教頭が中学校1人、一般教諭・事務は期限付きと再任用を除く実異動は、小学校が15人、中学校が11人の計26人で、新採用の教諭は小学校6人で、うち1人が養護教諭。中学校は3人、小学校の事務職員が2人の計11人となっております。

件数としては、実異動は45件、再任用と期限付きを含めた全件では63件となります。全件数での転出とのマイナス4件の4人分の違いは、基本定数の増減がマイナス3、学校力や指導工夫改善の加配の増減がマイナス3、再任用で市内初のハ

ーフ2人での1人区が2組となった調整でプラス2人、差し引きマイナス4人となります。なお、小・中学校人事の新聞報道解禁は、校長・教頭が3月25日（日）朝刊以降、一般教員は翌26日（月）朝刊以降となっております。参考で道立学校と道教委関係については24日（土）の朝刊以降となっております。それから今回は道議会の中で期限付きの割合が多いという指摘がここ2・3年あった中で新規採用を多く採用して期限付きを解消しようという動きがあったのですが、結果として4月の当初から新規採用の教員が足りないという状況がありました。特に小学校ですが、鷺別小学校が2人程度4月1日から配置できないと状況がありますが、なんとか調整して4月か5月にはなんとかなるかなという状況です。因みに内示後の3月20日頃の状況では、胆振管内では西胆振で10人、苫小牧で10人、計20人で結果的に伊達も苫小牧も充足していないと、その時点で上川が35人くらい、留萌も25人くらいで全道的に不足しているということで、当初から取り合いになっているので、各管内欠員のまま走るというケースが結構あると思います。最近の新聞報道でも欠員のまま走っているという報道がありますが、今年は更に拍車をかけるような状況になっていてちょっと危機的な状況です。教育大札幌校の状況では卒業生の4割程度が教員以外の職に就くという情報もありまして、全体的にそういう状況がありますので、教員のなり手がいないということも大きな要因なのかなと思いつつ事務を進めておりました。以上で報告を終わります。ご審議の程、よろしくお願いたします。

○武田教育長　ただ今報告第14号について説明がありましたけどもご質疑ございませんでしょうか。

（「ありません」の声あり）

○武田教育長　それでは、報告第14号については承認することとしてよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○武田教育長　それでは、報告第14号については承認いたします。次に議案第20号「登別市立学校管理規則の一部改正について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○田中総括主幹　はい。議案第21号も合わせて説明してよろしいでしょうか。

○武田教育長　はい。

○田中総括主幹　それでは議案の20号と21号につきましては、改正理由が同じでありますので一括して提案させていただきます。資料8ページからの議案第20号「登別市立学校管理規則の一部改正」と、同じく11ページからの第21号「登別市学校給食センター処務規程」については、改正理由が同じ内容でありますので、一括してご説明させていただきます。まず、学校管理規則についてですが、学校勤務の事務職員は経験年数などの基準を満たすことで、事務主任、事

務主幹の職名になりますが、この度事務主任と事務主幹の中間に「専門事務主任」の職名が新たに加わったことから、北海道の学校管理規則改正に合わせて、同様に改正するものです。また、この改正に合わせて赴任時の実態、以前は辞令交付から10日以内となっていたのですが最近では辞令の通知があった日から7日以内に取り扱いが変わっていますので、その点についても字句等を合わせて改正を行っております。改正案につきましては9ページ、新旧対照表は10ページと11ページになりますが、漏れがありましたので本日追加配布させていただいた1枚ものに差し替えということでよろしくお願ひします。

次に、資料11ページの給食センター処務規程についてですが、学校勤務の学校栄養職員は、道費で給食の献立を考えて業務をする学校勤務で給食センター兼務の職員となっていますが、この方も経験年数などの基準を満たすことで専門員の職名になりますが、この度専門員の上位に「指導専門員」の職名が加わったため、北海道の規則改正に合わせて同様に改正するものです。また、この改正に合わせて字句等の整備を併せて行っております。改正案は12ページ、新旧対照表は13ページとなります。以上、登別市立学校管理規則及び登別市学校給食センター処務規程の一部改正につきまして承認を求めます。ご審議のほど、よろしくお願ひいたします。

○武田教育長 ただ今議案第20号と第21号について説明がありましたけども、それぞれ道職員の職名の変更に伴って改正するというございます。ご質疑ございませんか。

○垣内委員 一つ確認させていただいてよろしいでしょうか。学校管理規則の中で現行では校長の意見を聞いて教育委員会が命ずるというようになっているのを改正後は委員会が命ずるというふうに「教育委員会」というのが「委員会」と変更になっているのですが、これは教育委員会というのとは変わらないのですか。

○田中総括主幹 学校管理規則はその前の条項のところで「教育委員会」を略称して「委員会」と使うように規定していますが、給食センターの方は略称規程がなかったのでこのよう表現になっています。

○垣内委員 分かりました。もしそうだとしたら共通の記載の方がいいかなと思ひますが。

○田中総括主幹 法令上のルールとしては頻繁に出てくるものは略称規程を設けるのですが、給食センターの方は2回程度しか出てこないのですのような形になっています。

○垣内委員 分かりました。

○武田教育長 他にありますか。

(「ありません」の声あり)

○武田教育長 それでは、議案第20号と第21号については、承認することとしてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○**武田教育長** それでは、議案第20号と21号については承認したいと思えます。以上で本日の議事は全て終了しましたが、その他、事務局から情報提供などありましたらお願いします。

【情報提供案件】

○**野崎教育部参与** はい。平成29年度の土曜授業の実績及び平成30年度の計画について情報提供したいと思えます。学校教育法施行規則の改正により、土曜日に実施する授業も教育課程上の時間として位置付けられたことから、26年度から道の「土曜授業推進事業」の指定を受け、市内全小中学校で土曜授業に取り組んで4年が経過いたします。これまでも校長会と連携を図りながら、公開授業や体験活動、学校行事等、学校や家庭、地域が連携して取り組むことができるよう推進することで、登別の子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日となるように事業を進めており、今年度同様、次年度も全小中学校が協力校として実施をしていく予定であります。

取り組み状況であります。資料にもありますように29年度は幌別中学校と若草小学校で年6回、富岸小学校で年5回、その他の10校で年4回実施しました。表の下の方緑陽中学校ですが、2月3日はインフルエンザの関係で実施しなかったため4回というカウントとなっております。授業の内容は、学び直しはもちろん、学習の発表や縄跳び大会などの行事、人権教室や認知症サポーター養成講座、スマホ教室など専門的な方を招いての学習、地域や学校運営協議会の協力をいただきながらの地域避難訓練や地域清掃、田植え体験、茶道体験、合格祈願餅つき大会など、土曜日ならではの活動に取り組んでいただきました。30年度も幌別中学校、幌別小学校、幌別東小学校で年6回、富岸小学校と緑陽中学校で年5回、その他の8校で年4回の実施を予定しております。子どもたちにとってより一層有意義な時間となるよう工夫していただくようお願いをしております。お時間がございましたら、学校をのぞいてみていただければと思います。なお、次年度の教育ふれあいウィークでは、10月27日か11月10日のどちらかの土曜日は、必ず公開するようお願いをしていることを付け加えさせていただきます。以上です。

○**小野島学校教育グループ学務主幹** はい。資料は1枚ものになります。平成30年度の市内中学校の進路状況についてまとめましたので情報提供いたします。今年度公立高校へ285名が受験しまして279名が合格となっております。現時点で残念ながら不合格となった生徒ですが、受験校が室蘭栄高校が3名、東翔高校が1名、青嶺高校が1名、苫小牧工業高等専門学校が1名の計6名となっております。この6名についてはほとんどが私立高校への進学が決まっております。現時点で未定となっている生徒も現在2次募集を希望しております。2次募集は

明日までとなっておりますので、結果というものは出ていません。また、特別学級在籍の生徒についても1名が私立校の欄にありますが、池上学院高校に決まっております。他の生徒についても全員が高等養護学校への進学が決まっておりますことを報告いたします。

次に、資料の3ページからになります。平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について本市の状況をまとめましたので情報提供いたします。まずはじめに今年度の結果につきましては、例年1月上旬であった国からの結果の送付が2月末にずれ込んだため例年より送れての情報提供となっておりますことを申し添えます。1枚捲っていただいて4ページ、5ページになります。本市で調査を受けた児童生徒の数ですが、小学校5年生が358人、中学校2年生が397人の計795人となっています。この学年以外でも実施している学校が多数ありますが、全国集計されるのは小学5年生と中学2年生であります。実施時期につきましては6月から7月にかけてで主に各学校の体育の時間に取り組んでおります。調査結果は全国、全道の状況と本市のこれまでの経年比較ができるようにそれぞれ表になりますが、平成26年から29年までの結果を記載しております。下の方のグラフについては3年間の本市の状況を全国平均を50とするT得点との比較でとりまとめしております。調査結果の概要ですが、まず小学校の体力総合点ですが、全国平均50のところを男子が51.2、女子が51.3となっております。昨年度に続き男女とも全国平均を上回っております。5ページは中学校になりますが、男子が48.5、女子が45.6となっております。全国からは2から4ポイント程度の差が見られますがここ数年で見ると高い得点になっております。それから身長体重は全国平均と同等程度であることから登別市の児童生徒は体格の割には運動能力というのは低いことが分かります。原因としては全国学力学習状況調査の結果からも本市の児童生徒はゲームやテレビ視聴等の時間が長いことから体を動かす機会、それから時間が少なくなり、それに伴って学年が上がるにつれて年相応の体力が身につけていない結果となったと考えられます。小学校の方ですが運動能力が全国平均を超えた要因としましては継続的に取り組んでおります1校1実践の体力向上の取組、各学校における体育科の授業の質の向上、それから休み時間等の運動機会の増加、おにスポからのスポーツ指導員の派遣等による全般的な改善が進んだことが考えられます。特にグラフで見ると分かりやすいと思いますが、20メートルシャトルランとソフトボール投げで伸びが見られております。中学校では50メートル走、持久走等の走力、持久力では課題が見られることから学校だけではなく家庭や地域とも連携した取組を平行して進める必要があるというふうに考えております。本市の調査結果につきましては、既に3月初めの校長会等で学校現場に情報提供しております。年度末から次年度にかけて改めて各校の体力向上策の充実に努めていただくよう伝えております。以上です。

○**田中総括主幹** はい。次は資料7ページになります。家族の時間づくりプロジェクトの本実施は1月26日金曜日から28日までの期間実施いたしましたので施設の利用状況について報告いたします。まず、小中学生の児童生徒の利用は823人で、全児童生徒の約25%の利用となっております。昨年度との比較では110人減、2.5%の減となっております。児童生徒の保護者を含めると1,414人、昨年度より120人減、7.8%の減となりました。次に、明日中等学校等の道立学校と幼稚園の合計では、子供大人を合わせて1,605人と、昨年度より124人減、7.2%の減となりました。施設別利用のベスト3は、サンライバスキー場で割合は約47%、登別マリパークが約19%、市民プールが約9%の順です。昨年度も2位までは同じですが、3位時代村が11.4%から7.3%に下がって、市民プールが10.8%から8.8%となったのですが順位としては逆になりました。家族時間づくりプロジェクトは5年目となります今年度で終了しますが、この間の市立学校の児童生徒の利用割合は、H25年度から、47.3%、27.0%、27.9%、27.3%、24.8%と初年度がほぼ5割と突出しておりますが、その後は4分の1程度となっております。事業としては、地元資源の活用や発見に繋がったのではと思っています。一方では特にサービス業従事者の家庭からの土日さえも休めないという声もありまして、国が推奨する事業としては多少貢献はできたのではと思っております。

なお、前回会議で申したとおり、今後は、内閣府が11月に設定している「家族の週間」に合わせて、登別温泉旅館組合協力のもとで日帰り入浴を中心とした学校及び家庭に負担をかけずに、日常生活の中で利用したい時に利用できる内容のものを後継事業として予定しております。以上です。

○**橋場次長** はい。次は資料8ページになります。平成30年度市内小中学校入学式の日程が決まりましたので後で出席について調整いただければと思います。よろしく申し上げます。

○**出口総務グループ建築主幹** はい。私の方からは鷺別小学校多目的ホール及び特別活動室の地域開放について情報提供いたします。9ページ10ページをご覧ください。鷺別小学校の多目的ホールと特別活動室は、現在学校教育活動以外は毎週水曜日と金曜日に14時から18時まで放課後子ども教室で利用しております。鷺別小学校の改築基本構想の中で地域のコミュニティを高める施設として学校の活動で利用しない時間や曜日などで積極的に活用できるよう地域住民の文化、スポーツ活動、団体の交流など、多面的な施設として位置付けをしまして整理いたしました。平面図をご覧ください。玄関を入れて直ぐホールから特別活動室と多目的ホールがあります。特別活動室の広さは25畳で床はジュータン敷きとなっております。多目的ホールは15メートル×10メートルでバドミントンコート1面分の広さで体育館同様のフローリングの仕上げとなっております。特別活動

室、多目的ホールともに床暖房になっております。次に開放の時間ですけれども月曜日から金曜日は16時から21時、土曜日、日曜日、祝日は9時から21時までとしまして、学校の活動、PTA、子ども教室、少年団活動で使用する場合はこれらを優先することとしています。利用料、電気料、水道料は無料となっております。次に施設の管理ですが、玄関入り口の取り扱いにつきましては、入り口横にキーボックスを設けまして、その中に鍵が入っておりまして、利用するときには開けて、利用後に元に戻すということにしています。最後に申し込みの方法ですが利用日の3ヶ月前から7日前までに利用許可申請書を提出してもらいます。申請書の受付は地域住民の方々にボランティアをお願いしまして、毎月第1、第3月曜日の9時から12時まで特別活動室で受付をしております。第1、第3月曜日が祝日の場合には受付を行わないこととしております。この申請書を提出していただきまして学校から利用許可書を作成してもらいまして特別活動室の連絡箱を通して利用者へ交付するという手順になっております。2月20日付けで鷺別小学校区の住民に開放案内書の配布を行いました。そして3月5日月曜日から受付を開始しました。利用状況でございますけれども3月22日現在で3団体の申し込みがありました。一つは鷺別太極拳が毎週土曜日の13時から16時のもう押し込みとなっております。もう一つは登別練尚館という剣道が毎週月曜日と金曜日の18時からということで申し込みがあります。後は連合町内会サロンがありまして、これが4月14日の土曜日の9時から13時の申し込みとなっております。このうち太極拳と練尚館は、解体した鷺別青少年会館を利用していた団体で、今回旧鷺別青少年会館を利用していた17団体に利用希望調査をしましてこの2団体が利用したいということでした。以上でございます。

○**安部社会教育グループ総括主幹** 社会教育グループからは、郷土資料館の特別展について情報提供させていただきます。平成29年度に本市に寄贈された資料の特別展となっております。今年度は市民8名と登別国際観光コンベンション協会から寄贈がありまして、合計で1,008点の資料を寄贈いただいております。そのうちの68点の展示をしております。4月15日まで開催となっておりますので是非ご覧いただきたいと思っております。以上です。

○**武田教育長** そのほか情報提供ありませんか。
(「ありません」の声あり)

○**武田教育長** それでは数が多いので1番から3番くらいまででご質疑等ございませんか。

○**森口委員** 運動能力調査で長座体位前屈というのはどのような運動ですか。

○**小野島学務主幹** 床の上に足を伸ばして座りまして前屈をするものです。

○**森口委員** 分かりました。

- 堅田委員** 同じ子で比較しているわけでは無いと思うのですが、5年生から中学2年生までの数年の間に特に女子の体力が落ちているというのは何かあるのでしょうか。
- 小野島学務主幹** ずっと何年もいわれていることなのですが、特に小学校の場合ですとここにはないのですが、質問紙調査を見ると小学校の女の子の場合は運動に親しんでいるという傾向があるのですが、それが体力として出てこないということはやはり日常的なものを含めて運動習慣なのかなと思います。体育の学習だけではなかなか身に付いてこないということもありますので、あと中学校になりますと部活動とかの絡みがありまして、やはり小学校からスポーツに親しんでいる女の子たちは割と中学校に入っても運動系の部活に入っているというのがあるのですが、そこに参加しないとなかなか体を動かす機会がとれないということもあるものですから小学校よりは中学校の方に課題が多いというのは、そういうことなのかなと。
- 堅田委員** 2極化してしまうと、極端にいうと。
- 小野島学務主幹** そうですね。だからといって個人で見るとそれなりにちゃんと結果出せてる子もいますので。そう考えると委員が今おっしゃったように2極化というのがずいぶん見られるのかなと思っています。
- 武田教育長** そのほかございませんでしょうか。
- 堅田委員** 体力のところでゲームとかテレビの時間というのがあって、先日新聞にも載っていましたが、WHOの病気疾病の分類の中にゲーム障害というのが新たに6月から承認されるという話なので。基本的には精神疾患に含まれると。要は依存症と考えるらしいですね。ですから世界的にもそういう傾向にあるのかなと。いろいろと発信していく必要があるのかなと思います。
- 小野島学務主幹** 私もちらっとしか新聞記事を見ていないのですが、保護者の方にとっても子どもさん達は勿論なのですが、やはり自分の興味のある方に傾いていってしまうので、それをある程度環境を整えてやるのが大人の責任なのかなと思いますので、そのあたりはゲーム障害というところが出されたというところもありますけども経年で課題になっている家庭生活のリズムですとか時間の使い方ですとかありますので、いろいろな策を練って家庭に発信していきたいと思います。
- 赤井委員** 小学校の能力が全国より上だということで、過去のデータは無いのだけでも最近おにスポの人が小学校に入っているいろいろな準備したり補助したりしていますよね。私は見えてすごくいいなと思っていたのですが中学校にはああいう方の配置はないのですか。例えば器具を出すとか体育の準備とか非常にスムーズにやっているということで運動能力部分を含めて伸びる要素の一つかなと。いろいろと各学校で取り扱っているということでは成果が上がっていると思いま

すが、その一つとしてはなんかありそうな、もっと伸びる可能性があるという感じがしました。

○武田教育長 事業の継続にあたってもいろいろと議論があって、そういう中でそれぞれの学校の活用の仕方もありますが、現実には実績が少しずつ上がってきておりますので、これは継続していく事業だということで認めていただいております。議会でも何回も質問がありますけども、こういう数値で実績が出てくるということではなかなかいい事業だといってくれるので、充実したものにしていければと思っています。そのほかありませんか。それでは4から7までで何かありましたら。

○森口委員 家族の時間づくりプロジェクトで北の博物館はどういう施設ですか。

○田中総括主幹 登別の若木商店おもちゃ屋さんのオーナーがセイコーマートの近くに建物を借りてそこで展示をしています。おもちゃだとか昔の映画のポスターだとか、コイン収集だとか美術品だとかいろいろな分野の中で自分が集めたものを展示しています。28年度から事業に協賛していただいています。

○森口委員 分かりました。

○赤井委員 無料ですか。

○田中総括主幹 普通は500円掛かりますが、この期間は大人も子どもも無料にいただいています。

○武田教育長 他にございませんか。入学式はいかがいたしますか。

○森口委員 鷺別小学校と鷺別中学校は出席いたします。

○堅田委員 登別小学校に行きます。

○赤井委員 富岸小学校と緑陽中学校に行きます。

○垣内委員 私は幌別小学校と幌別中学校でお願いします。

○武田教育長 そのほかよろしいでしょうか。終了してよろしいでしょうか。
(「はい」の声あり)

○武田教育長 それでは、終了いたします。最後に4月の教育委員会の開催日について予定したいと思いますが、次回開催日について、事務局の方で考えがあればお願いします。

○橋場次長 4月の教育委員会につきましては、4月25日水曜日、会議は16時30分から、また、委員会終了後に「歓送迎会」を開催したいと考えております。会場はホテル平安を予定しております。

○武田教育長 それでは、事務局より提案のありました4月25日水曜日で皆様のご都合は如何でしょうか。
(「大丈夫です」との声あり)

○**武田教育長**　それでは、決定とさせていただきます。詳細につきましては、後日事務局よりお知らせ願います。以上で本日の会議を閉会いたします。お疲れ様でした。